

項	教育目標	重点目標 (努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	改善策	
心豊かにたくましく生きる 神戸の子供を育む	心豊かにたくましく生きる 人間の育成	自ら学ぶ子 やる気いっぱい 主体的に学習に取り組む態度を育てる 基礎学力の充実	ICT機器の有効活用	ICT機器を毎時間のように有効活用できた。	ICT機器の活用が分かりやすい授業につながっているので、今後もさらに活用したい。	
			めあての提示・振り返りの充実	めあての提示はできている。振り返りをさらに意識したい。	授業の中で活動の時間配分を適切に行い、振り返りの時間を確保する。	
			放課後学習の充実	水曜日以外は実施し、個別の指導をすることができた。	一人一人に応じた学習を行い、基礎学力の充実を図る。	
		思いやりのある子 笑顔いっぱい 豊かな感性と思いやりをもち、 共感し合える心情を育てる	特別活動や道徳の活性化によるいじめの未然防止 元気な挨拶（いつでも・どこでも・誰にでも・何度でも）	異学年での活動	スポーツフェスティバルをペア学年で取り組んだ。	コロナの感染状況に応じて、しっかりと対策をしながら、少しずつ異学年交流を入れていく。
					友達のよいところを見つけたり、違いを認め合ったりする活動を行った。	教育活動全体で、友達のよさを認め合う機会を作っていく。
					今週のめあてに何度も取り上げ、継続して指導した。	まずは、教師が手本となり、挨拶運動や今週のめあて等で意識させながら、継続して取り組んでいく。
		粘り強くたくましい子 元気いっぱい 健康で安全な習慣を身に付け、 たくましい心と体を育てる		学校行事の充実	コロナ対応をしながら、できるだけ工夫をし実施した。	コロナの感染状況に応じて、しっかりと対策をしながら、工夫しながら学校行事を計画していく。
黙々清掃への取組	「我慢、親切、発見」を意識させ、黙って掃除に取り組んだ。			振り返りをさせたり、意義を考えさせたりして、黙々と掃除をできるようにする。		
姿勢を正すための取組	足の裏を地面につけ、姿勢を正す取り組みを続けている。			朝会等で姿勢体操を取り入れたり、日常的に運動に取り組みやすい環境を工夫したりする。		
安全・安心で楽しい学校を築き、 地域と共に子供を支える	言葉・手・心 つながりよう	児童の姿を意識した教材研究	学年打ち合わせ等で、教材研究を学年団ですることが定着している。	今後も、学年打ち合わせ等で教材研究や学習進度を共通理解していく。		
		主体的・対話的で深い学びとなるような授業改善	児童が主体的に取り組むことができるような工夫を意識して授業づくりをした。	児童同士の対話、児童と教師の対話などを意識して、授業を作っていく。主体的に取り組むことができる工夫をしていく。		
		研修の充実	生徒指導やICT機器の研修など、明日から使える内容を研修した。	今後もICT機器の使い方を研修し、より効果的な使用方法を追求していく。GIGA構想での一人一台端末をうまく使えるように研修を工夫していく。		
		いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策に関する取組（いじめ問題対策委員会）	校内いじめ問題対策委員会を行い、情報交換を行った。	今後も情報交換を続けていく。全員で共通理解して対応していく。		
		学習時間確保に向けた取組	朝と昼に15分間の短時間学習を6回入れ、学習時間の確保をした。	短時間学習を週6回入れたことで時数の確保ができた。		
		ホームページにおける情報発信	毎日、学校の様子を写真を載せながらホームページで発信した。	今後も、学校生活の様子をホームページで更新し、タイムリーな情報発信を続けていく。		